職業実践専門課程等の基本情報について

字校名	学校名 設置認可年月日 校長名 所在地					E地						
東放学園専門	〒 168-0063 学校 昭和54年4月1日 堀内 和人 (住所) 東京都杉並区和泉2-4-1											
					(電話) 03-3323-8531					- 14		
設置者名	名 設立認可年月日 代表者名 所在 ¹						上地					
学校法人東放	[放学園 昭和54年4月1日 斉藤 晃 (住所) 東京都杉並区和泉2-4-1											
分野		認定課程名			認定学科名	ζ	(電話)	03-3323-8531 計士認定年度	高度専門士	-認定年度	職業実践	専門課程認定年度
文化・教養		送専門課程			テレビ美術			30(2018)年度	同及专门。			1 (2019)年度
人化 秋茂												
学科の目的		-等を身につ						至るまで、美術全般の つの教育方針を定め				
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	情報処理抗 中退率:49		本漢字能	力検定、日本	本語ワープロ	□検定						
修業年限	昼夜	全課程の修	多了に必要 単位	な総授業時 立数	特数又は総	講	義	演習	実習	9	実験	実技
2	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ		単位時間単位		単位時間単位	210 単位時間 - 単位	1,155 単位問 - 単位		単位時間 一単位	単位時間 一 単位
生徒総定員	生徒男	€員(A)	留学生	数(生徒実員の		留学生割		中退率			- <u>-</u> <u>-</u>	
80 人	58	,		10	,	0) %	4 %				
00 71	■卒業者		:		39		,	1 70	l			
		望者数(D)			37		\(\)					
	■就職者		- :		34		Ż.					
	■地元就 ■就職率	職者数(F)			29 92		人					
		に占める地	元就職者の)割合 (F/F			%					
	_ 370794 日				85		%					
	■卒業者(こ占める就職	機者の割合	(E/C)	07							
	■進学者	坐行			87 0		<u>%</u>					
就職等の状況	■進子有	ях			U							
	その他5名	3										
	/ A #n		/r nic +/- #/- #/-	1- HI 7 A:	for charge a	n net te as lette	tern \					
	(令和			に関する守る	和6年5月.	1日時点の情報	戦)					
		職先、業界	寺									
	(令和6年度		ミブナクト	薛汝小 道	5目(姓)(姓)左	ごして 羊術 ほ	出テレフィック	、何京阪商会、金井	生士 済目(株) (株)=	Fトヤマート は	5 フパ ー カ は	4)市古美工 - 44
	が水ホハ	メソン、イヤイシン	~~~ //-	、燃水小	2 5 (14) (14) /	アイ大門、	14/10/1/1	、(用) 水	T八旦共(M)、(M)	1.67 1.74	H/ // / / / //	M未示天工 IE
	■民間の	評価機関等	から第三	者評価:				無				
第三者による	※有の場合	. <i>は</i> はさばいて	ニーヘリンナル	音記載								
244 1 T T T T T T T T T T T T T T T T T T		、別んは以下	1- 76, 61	- AEV BIO +34								
学校評価			·1c 20, C13	75 BU 44		双字 左口		評	- - - - 価結果を掲載した	_		
子仪評価		評価団体:	יוב אני כם	. /E> 8G #A		受審年月:			で価結果を掲載した ニームページURI			
当該学科の			,ic Ju (13	- AS 110 #A		受審年月:						
当該学科の ホームページ	1				gn/	受審年月:						
当該学科の	1	評価団体:			gn/	受審年月:						
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体:	uen.ac.jp/		gn/	受審年月:						
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak	uen.ac.jp/ 5算定)		gn/	受審年月:					70 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5算定)	ítoho/desig						2, 07		
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ る算定) (うち企業 ^等	ítoho∕desig	た実験・実	習・実技の招				2, 07	80 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ る算定) { うち企業等 うち企業等	toho/desig 等と連携し <i>f</i> 等と連携し <i>f</i>		習・実技の招				2, 07	0 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5算定) [うち企業等 うち企業等	toho/desig 等と連携し <i>f</i> 等と連携し <i>f</i> 受業時数	た実験・実た演習の授	習・実技の担業時数	受業時数	<i>‡</i>		2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5算定) [うち企業等 うち企業等	toho/desig 等と連携し <i>f</i> 等と連携し <i>f</i> 受業時数	た実験・実た演習の授	習・実技の担業時数	受業時数			2,07	0 単位時間	
当該学科のホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5算定) [うち企業等 うち企業等	foho/desig 等と連携し <i>f</i> 等と連携し <i>f</i> 受業時数 うち企業等	た実験・実た演習の授	習・実技の担業時数	受業時数	<i>‡</i>		2, 07 63 48	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間	
当該学科の ホームページ URL	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5算定) { うち企業等 うち企業等 うち企業等	toho/desig 等と連携し 等と連携し うち企業等 うち企業等	た実験・実 た演習の授 等と連携し <i>t</i> 等と連携し <i>t</i>	習・実技の打 業時数 こ必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 90 単位時間	
当該学科の ホームページ	https://w	評価団体: ww.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5算定) { うち企業等 うち企業等 うち企業等	toho/desig 等と連携し 等と連携し うち企業等 うち企業等	た実験・実 た演習の授 等と連携し <i>t</i> 等と連携し <i>t</i>	習・実技の指 業時数 ○必修の実験 ○必修の演習	受業時数 ・実習・実 の授業時数	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数	uen.ac.jp/ 5.算定) (うち企業等 うち必修打 (うち企ま	toho/desig 等と連携し 等と連携し うち企業等 うち企業等	た実験・実 た演習の授 等と連携し <i>t</i> 等と連携し <i>t</i>	習・実技の指 業時数 ○必修の実験 ○必修の演習	受業時数 ・実習・実 の授業時数	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間によるを 総授業時数	uen.ac.jp/ 5.算定) (うち企業等 うち必修打 (うち企ま	toho/desig 等と連携し 等と連携し うち企業等 うち企業等	た実験・実 た演習の授 等と連携し <i>t</i> 等と連携し <i>t</i>	習・実技の指 業時数 ○必修の実験 ○必修の演習	受業時数 ・実習・実 の授業時数	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 90 単位時間 0 単位時間 00 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) こうち企業等 うち企業等 うち必修打 (うち企ま	toho/desig	た実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携した したインタ	習・実技の抄業時数 業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの	受業時数 ・実習・実 の授業時数) の授業時数)	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 の が が が が が が が が が が が が が が が が が が	uen.ac.jp/ 5 算定) こうち企業等 うち企業等 うち必修打 (うち企身 算定)	ftoho/desig	た実験・実	習・実技の校業時数 と必修の実験 と必修の演習 ンシップの	受業時数 ・実習・実 の授業時数) の授業時数)	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 の が が が が が が が が が が が が が が が が が が	uen.ac.jp/ 5 算定) こうち企業等 うち企業等 うち必修打 (うち企身 算定)	ftoho/desig	た実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携した したインタ	習・実技の校業時数 と必修の実験 と必修の演習 ンシップの	受業時数 ・実習・実 の授業時数) の授業時数)	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) こうち企業等 うち企業等 うち必修打 (うち企身 算定)	foho/desig	た実験・実	習・実技の校業時数 と必修の実験 と必修の演習 ンシップの	受業時数 ・実習・実 の授業時数) の授業時数)	<i>‡</i>		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企動 (うち企動 うち企業等 で定)	ftoho/desig	た実験・実 た演習の授 をと連携した をと連携した したインタ・ た実験・実 た演習の単	習・実技の抄業時数 た必修の実験 た必修の演習 一ンシップの 習・実技の単 位数	受業時数 ・実習・実 の授業時数) の授業時数)	技の授業時数		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企動 (うち企動 うち企業等 で定)	ftoho/desig 年と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 手と連携した する企業等と連携した。 する企業等と連携した。 ないである。 をはないである。 ではないではないである。 ではないではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	た実験・実 た演習の授 をと連携した をと連携した となる た大実験・実 た実験・実 を大演習の単	習・実技の抄業時数 た必修の実験 た必修の演習 一ンシップの 習・実技の単 位数	受業時数 ・実習・実 の授業時数) が授業時数) 単位数	技の授業時数		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 ううち必修打 (うち企身 うち企業等 (うち企身 うち企業等 うちな必修打	foho/desig	た実験・実 た演習の授 をと連携した をと連携した た大実験・実 た演習の単 た実験・実	習・実技の杉 業時数 と必修の実験 一ンシップの が で で で で で で の 実 で で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の に に に の に に に と に に に に に に に に に に に に に	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 ・実習・実 のの関連を ・実習・実 のの単位数	技の授業時数		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 ううち必修打 (うち企身 うち企業等 (うち企身 うち企業等 うちな必修打	foho/desig	た実験・実 た演習の授 をと連携した をと連携した た大実験・実 た演習の単 た実験・実	習・実技の抄業時数 と必修の実験 と必修の実際 一ンシップの 習・実技の単位数 と必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 ・実習・実 のの関連を ・実習・実 のの単位数	技の授業時数		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による。 総授業時数 立数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 ううち必修打 (うち企身 うち企業等 (うち企身 うち企業等 うちな必修打	foho/desig	た実験・実 た演習の授 をと連携した をと連携した た大実験・実 た演習の単 た実験・実	習・実技の杉 業時数 と必修の実験 一ンシップの が で で で で で で の 実 で で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の に に に の に に に と に に に に に に に に に に に に に	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 ・実習・実 のの関連を ・実習・実 のの単位数	技の授業時数		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数 が数による 総単位数	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企ま) うち企業等 (うち企ま) うち企業等 (うち企ま)	foho/desig	た実験・実 た演習の授 等と連携した をと連携した したインタ・ た実験・実 をと連携した た実験・実 をと連携した たた演習の単 をと連携した たたは にたインタ・ たたは にたインタ・ たたは にたインタ・ たたは にたインタ・ たたは にたインタ・ たたは にたインタ・ たたは にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたインタ・ にたんが、 にたが、 にたんが、 にたいが、	習・実技の担業時数 上必修の実験 ニンシップの こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 ・実習・実 の単位数)	技の授業時数		2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数 による 総数による の 総単位数	uen.ac.jp/ 5.算定) うち企業等 ううちか修打 (うち企ま 草定) うち企業等 (うち企ま (うち企ま (うち企ま (うち企ま	ftoho/desig をと連携した をと連携した うち企業等 うち企業等 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した。 をと連携を、 をと連携を、 をと連携を、 をと連携を、 をと連携を、 をと連携を、 をとをををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た演習の授 等と連携したインタ・ た実験・実 た演習の単 た実験・実 等と連携したインタ・ たしたインタ・ したインタ・	習・実技の担 業時数 ニ必修の実験 ニンシップの 習・実技の単 位数 こ必修の演習 ロンシップの を必修の演習 ロンシップの なが	受業時数 ・実習・実 の授業時数) 単位数 単位数 の単位数)	技の授業時数	-AN-VURI	2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	uen.ac.jp/ 5 算定) [うち企業等	をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 できる。	た実験・実 た演習の授 等と連携した もしたインタ・ た実験・実 に を を を を を と 連携した た た 実習の単 した したインタ・ た は した した に た は した に た に した に た に に に に に に に に に に に に に	習・実技の担業時数 上必修の実験 ニンシップの こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験 こと必修の実験	受業時数 ・実習・実 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の対策 の対 が が の単位数 の単位数 の単位数	技の授業時数	-AN-VURI	2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数 の数による 数による 数による 数である の数による を がいる の数による の数による な数 のである のである のである のである のである のである のである のである	uen.ac.jp/ 5 算定) [うち企業等	をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 できる。	た実験・実 た演習の授 等と連携した もしたインタ・ た実験・実 に を を を を を と 連携した た 大演習の単 した に た は した した に た は した に た に は した に た に は した に た に は に に に に に に に に に に に に に	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の対策 の対 が が の単位数 の単位数 の単位数	技の授業時数	-AN-VURI	2, 07 63 48 9	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 整接業等数 のでは、 な数による を終単位数 のでは、 でも、 では、 では、 のでは、 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 (うち企企業を修 (うち企企ま) (うち企企を修 (うち企企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを必修を) (うちを企ま) (うちを定す) (うちを) (うち (() () () () () () () () () () () () () (ftoho/desig 存と連携した 存と連携した うちと連携した うちと連携した うちと連携した うちと連携した うちと連携した。 なのでである。 なのでである。 なのでである。 なのでである。 はいまする。 はいまる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。	た実験・実 た演習の授 等と連携した もしたインタ・ た実験・実 に を を を を を と 連携した た 大演習の単 した に た は した した に た は した に た に は した に た に は した に た に は に に に に に に に に に に に に に	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実 の授業時数) が投業時数) がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 はな数) ・実習・実 の単位数) ・実習・実 の単位数) ・実習・実	技の授業時数 技の単位数	デームページURI	2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	https://w	評価団体: www.tohogak 立時間による 総授業時数 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	uen.ac.jp/ 5 算定) うち企業等 (うち企企業を修 (うち企企ま) (うち企企を修 (うち企企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを企ま) (うちを必修を) (うちを企ま) (うちを定す) (うちを) (うち (() () () () () () () () () () () () () (ftoho/desig 存と連携した 存と連携した うちと連携した うちと連携した うちと連携した うちと連携した うちと連携した。 なのでである。 なのでである。 なのでである。 なのでである。 はいまする。 はいまる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。 はっる。	た実験・実 た演習の授 等と連携した もしたインタ・ た実験・実 に を を を を を と 連携した た 大演習の単 した に た は した した に た は した に た に は した に た に は した に た に は に に に に に に に に に に に に に	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実 の授業時数) が投業時数) がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 がはまる。 はな数) ・実習・実 の単位数) ・実習・実 の単位数) ・実習・実	技の授業時数	デームページURI	2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 50 単位時間 50 単位 中単位 - 単位 -	
当該学科のホームページ URL 企業等ののと連携がずれた。 に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 整接業等数 のでは、 な数による を終単位数 のでは、 でも、 では、 では、 のでは、 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	uen.ac.jp/ 5 算定) 「うううううち企業業等を必要を 「うちな企業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「うちな企業業を 「できる。」 「できる。「できる。」 「できる。「できる。」 「できる。「できる。「できる。」 「できる。「できる。」 「できる。「できる。「できる。」 「できる。「できる。「できる。」 「できる。「できる。」 「できる。」 「できる。」 「できる。「できる。」 「できる。」 「できる。」 「できる。「できる。」 「できる。」 「できる。。」 「できる。」 「できる。」 「できる。」 「できる。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。」 「できる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	ftoho/desig をと連携した をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 うちと連携した。 ををする。 をををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 をををををする。 ををををする。 をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た演習の授 等と連携した もしたインタ・ た実験・実 に を を を を を と 連携した た 大演習の単 した に た は した した に た は した に た に は した に た に は した に た に は に に に に に に に に に に に に に	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の対象 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数	技の授業時数 技の単位数	演第1号)	2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位	
当該学科のホームページ URL 企業等をの実施ずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 整授業時数 による 動による 数による 数による 数による 数ででは、 できる のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	uen.ac.jp/ 5 算定) 「うううううち 企業等 等 (うち企 企業等 (ftoho/desig をと連携した をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 うちと連携した。 ををする。 をををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 ををする。 をををををする。 ををををする。 をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た実験・実 を連携した た連携したインター た実験・実 の単・ をと連携した た実験の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をとがある。 におるのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習の授業時数 の授業時数) 単位数 ・実習・実 の単位数 の単位数 (専修学中 (専修学中	技の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 50 単位時間 50 単位 中単位 - 単位 -	
当該学科のホームページ URL 企業等の実施がすれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 数による 数による 数による 数による を学当後 解析の でで問して でででいる のででいる のでいる の	uen.ac.jp/ 5 算定) 「うち企業等 を がっち の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ftoho/desig をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をと連携を、 をとをををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た実験・実 を連携した た連携したインター た実験・実 の単・ をと連携した た実験の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をとがある。 におるのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実習の授業時数) 単位数 ・実習の数 の単位数 ・事修学 ・「専修学・「・	技の授業時数 技の単位数	デームページURI (第1号) (第3号) (第3号) (第3号) (第4号)	2, 07 63 48 9 6	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科のホームページ URL 企業等をの実施ずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 整授業時数 による 動による 数による 数による 数による 数ででは、 できる のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	uen.ac.jp/ 5 算定) 「うち企業等 を がっち の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ftoho/desig をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をと連携を、 をとをををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た実験・実 を連携した た連携したインター た実験・実 の単・ をと連携した た実験の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をとがある。 におるのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実習の授業時数) 単位数 ・実習の数 の単位数 ・事修学 ・「専修学・「・	技の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	デームページURI (第1号) (第3号) (第3号) (第3号) (第4号)	2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科のホームページ URL 企業等をの実施ずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 数による 数による 数による 数による を学当後 解析の でで問して でででいる のででいる のでいる の	uen.ac.jp/ 5 算定) 「うち企業等 を がっち の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ftoho/desig をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をと連携を、 をとをををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た実験・実 を連携した た連携したインター た実験・実 の単・ をと連携した た実験の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をとがある。 におるのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実習の授業時数) 単位数 ・実習の数 の単位数 ・事修学 ・「専修学・「・	技の授業時数 技の単位数	デームページURI (第1号) (第3号) (第3号) (第3号) (第4号)	2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科のホームページ URL 企業等をの実施ずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による を表現している。 では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	uen.ac.jp/ 5 算定) 「うち企業等 を がっち の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ftoho/desig をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をと連携を、 をとをををををををををををををををををををををををををををををををををを	た実験・実 た実験・実 を連携した た連携したインター た実験・実 の単・ をと連携した た実験の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をと連携した た大演習の単・ をとがある。 におるのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	習・実技の杉 業時数 ・必修の実験 で必修の実験 でと必修の演習 ・実技の単 ・実技の単 ・と必修の演習 ・と必修の演習 ・で、ま技の単 ・で、まない。 ・で、、。 ・で、、 ・で、、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・	受業時数 ・実習・実習・実習の授業時数) 単位数 ・実習の数 の単位数 ・事修学 ・「専修学・「・	技の授業時数 技の単位数	デームページURI (第1号) (第3号) (第3号) (第3号) (第4号)	2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科のホームページ URL 企業等をの実施ずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立 bill を持行を表する な bill による な bill でで門して で ail を すの 他 は cill でで門して で ail を すの 他	uen.ac.jp/ 5 算定) (う うううう ち 企 企 変 修 担 ま 学 夜 全 変 修 担 ま 学 夜 空 で 変 な で な か の る 年 と な な か 又 は で な か で と な か で と な か で と な か で と な か で と な か で と な か で と か き と な か で と な か で と か き と な か で と か き と な か で と か き と な か で と か き と な か で と か き と な か で と か き と か で と	foho/desig 年と連携したした。 年と連携したした。 年と連携したした。 年と連携したした。 年と連携したした。 年と連数を企業携した。 年とは変数では、 年とは、 年とは、 年を従業できる者者では、 年の事務に、 年の事を、 年の事を、 年の事を、 年の事を、 年の事を、 年のを 年のを を を を を を を を を を	た実験・実習の授・実習の授・大演習の授・大演習の授・大演習の授・大演習の授・大演習の 大きな 一大大演 いっぱい かい 大き と 連携 した 大演 習 が した 大演 できる した 大変 できる した 大き でんしん 大き でん 大き でん 大き でん ボール・ 大き でん しん しん 大き いっぱん しん いんき しん	習・実技のが 業時数 と必修の実験習 位 と必修の実験習 位 と必修の実験習 位 とのを をシップの が を の で の 演 プ の を の 演 プ の を の 演 プ の を り で と と と と と と と と と と と と と と と と と と	受業時数 ・実習・実 の授業時数 ができる。 の授業時数 ができる。 の要には の事を学 ・事を学 ・「専修学 ・「専修学 ・「専修学 ・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「	技の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(一 A ページURI (2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科のホームページ URL 企業等をの実施ずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 数による 数による 数単位 数単位 数単位 数単位 数 等現の作 で開 でで門して、学・高・等 はの作 でで門して、学・の他 計	uen.ac.jp/ 5 算定) [うち企企業等 括	で toho/desig を と連携した かく で は で は で は で は で で で で で で で で で で で	た実験・実習の授・実習の授・大演習の授・大演習の授・大演習の授・大演習の授・大演習の 大きな 一大大演 いっぱい かい 大き と 連携 した 大演 習 が した 大演 できる した 大変 できる した 大き でんしん 大き でん 大き でん 大き でん ボール・ 大き でん しん しん 大き いっぱん しん いんき しん	習・実技の担 業時数 と必修の実験習 位数 と必修の実験習 位数 とのとのというでは、 とのとのでは、 とのでも。 とのでは、 とのでも。 とのでは、 とのでも。 とのでは、 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 と。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。	受業時数 ・実習・実 の授業時数 ができる。 の授業時数 ができる。 の要には の事を学 ・事を学 ・「専修学 ・「専修学 ・「専修学 ・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「	技の授業時数 技の単位数	(一 A ページURI (2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 00 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか に記入)	https://w (A:単位 (B:単位	評価団体: www.tohogak 立時間による 数による 数による 数単位 数単位 数単位 数単位 数 等現の作 で開 でで門して、学・高・等 はの作 でで門して、学・の他 計	uen.ac.jp/ 5 算定) [うち企企業等 括	で toho/desig を と連携した かく で は で は で は で は で で で で で で で で で で で	た実験・実 を 実験・実験・実験・実 を と連携した た実験 習 が はした たま	習・実技の担 業時数 と必修の実験習 位数 と必修の実験習 位数 とのとのというでは、 とのとのでは、 とのでも。 とのでは、 とのでも。 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 と。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。	受業時数 ・実習・実 の授業時数 ができる。 の授業時数 ができる。 の要には の事を学 ・事を学 ・「専修学 ・「専修学 ・「専修学 ・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「	技の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(一 A ページURI (2,07	30 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 00 単位時間 50 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

高度な実践力や威力の発揮に欠かせない人間性や自立心を育み、環境や技術等の変化が著しい当該業界において順応力を持った人材を輩出するために、

- ①学生が享受すべき知識や技術について、連携企業との日常的なコミュニケーション・意見交換を通じて、教育課程の編成や教育環境の構築に関して、積極的に反映させる事。
- ②就職先ともなり得る連携企業に所属する社員を講師として招聘し、実習・演習授業において実利性・専門性が高いカリキュラムを構成する事。

以上を、企業等との組織的な連携の基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長を委員長とし、以下、副校長、教務教育部長の他、就職指導や就職先企業の交渉等を主な業務とする学務管理部 業務主任や学科運営を主たる業務とする学科主任を学内の委員とし、学科が委嘱する業界企業の方と業界関連団体に所 属し、実践の環境を熟知し、あるいはそれらを俯瞰し統括する立場の方を学外の委員として構成している。

学外委員からは当該業界の動向や変化等について、学内委員からは学事や学生の動向等について意見交換を行い、積極的な情報共有を図る。

また、カリキュラムのあり方や授業の構成について、同業界において求める人材像や育むべき人間性や実践力について等、これらの具体的要件に関しても意見交換や議論を行い、教育課程決定の基とする場として位置付けている。

当委員会の内容は、学内委員により学科毎に実施されているカリキュラム会議で発議がなされ、学科担当職員との意見交換を経て、重要度の高い項目等から教育課程の編成に取り入れられる。反映された項目は、次回以降の同委員会でフィードバックがなされ、今後の会議運営に役立てる事とする。以上を教育課程の編成に関する意思決定の過程としている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
藤延 直道	協同組合 日本映像事業協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
森 俊文	一般社団法人 日本ポストプロダクション協顧問	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
大滝 功	有限会社フラッグス	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
小杉 文人	株式会社 ビデオスタッフ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
村山 雄亮	株式会社WING-T	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
市川 一弘	株式会社共立取締役 管理本部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
齋藤 明彦	株式会社アート・クリエイティブ・パートナーズ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
堀内 和人	東放学園専門学校 校長 教育課程編成委員会委員長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
木戸 司	東放学園専門学校 学務管理部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
津田 周二	東放学園専門学校 教務教育部 テレビ美術科 教員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月24日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月28日 14:00~16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

一回目の委員会で、企業や業界団体の学外委員から業界の動向や学校に求める人材育成像(知識・技能)、教育課程編成の助言等を聴取した上で学内委員との協議を行い、学科担当教員で構成するカリキュラム会議で教育課程の編成案を作成し、二回目の委員会で、学外委員への報告と協議を行い、次年度以降の教育課程の編成や授業内容の改善等に反映している。

【具体的な助言と取り組み】

- ・当学科の教育課程の内容やバランスについて概ね過不足はないが、講義系授業のスリム化の提案があり、授業時間数の見直しを図った。
- ・美術製作/作業時の安全対策に関する求めに対し、月に一度は「作業報告会」を実施し、事故や怪我に繋がる作業方法の見直しや共有を行った。また関連する資格として、今後は「高所作業安全講習会」(フルハーネス特別教育など)の講習参加を推奨していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①美術業界の多種多様な知識と技術の習得、現場実習やインターシップの強化等を重点項目としている本学科において、これらの目的を達成するため、デザイン・大道具・装飾・衣装等を主たる業務としている各企業と、広範囲に渡って総合的に関わる企業、学生の就業先となり得る連携すべき企業を選択する事。
- ②「現場が必要とする人材」を最も効果的に育む事ができる、現場の一線で活躍している企業や外部講師から助言をいただき、それを積極的に反映させていく事。
- ③実習・演習授業において、授業回毎の具体的な内容や、学生の習熟度を鑑みながらの教育の程度・水準等について、 学内の学科担当職員と議論や意見交換を図る等、同企業との連携を図りながら授業を担当していただく事。 以上3項目を、企業等との連携に関する基本方針としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科1年次では、デザイン・デッサン・PCスキル・大道具等の美術全般において、それぞれの分野の技術力を身につけるための、実習・演習等の授業を実施している。ほぼすべての授業において、各職種に実際に携わっている企業と連携を行っており、習得した知識や技術の達成度を勘案しながら、実習作業の忠実度や意欲等を含めた学修成果の評価を実施していただいている。

2年次では、美術系業務の各職種において、学生の志望職種を見極めながら、さらに理解度や実践力を高めるための、応用的実践授業を実施。1年次同様に各職種に従事している企業等と連携しながら、授業ごとに設定する目標到達度を勘案しながら学修成果の評価を実施していただいている。

また、連携企業や外部講師を招聘し、学科担当職員全員・就職担当職員との懇談の場である講師会を実施。連携企業や講師との意見交換と情報共有を図り、各担当授業のシラバスや具体的な実習・演習内容を検討したり確認したりしながら、教育課程の充実と教育内容・学校職員の質向上に努めている。

上記会議体のみならず、連携企業や協力いただいている外部講師とは、定常的に当該現場の動向や変化、学生の資質等の情報を交換しながら、細やかな話し合い・コミュニケーションを通して、上記主旨同様の効果を図るための対策を常に施している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

企業連携の方法	科目概要	連携企業等
	VectorWorksの豊富な機能をマスターし、他の	株式会社アルティア
		株式会社アルティア
1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	「デッサン I 」の応用。構図・色・質感なども正確に表現できるよう、「デッサンカ」を高めます。	株式会社アルティア
1時が分子の塔芙を玉田当	「フォトショップ」の基本操作を習得し、いくつかの作品づくりを通して、デザインの基本を学びます。	株式会社スカイハイプロダクション
		株式会社スカイハイプロダクション
	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当 1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当 1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当 1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当 1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校では、教員研修規程として教員研修の目的、方針、教員の責務、報告などの事項を定めており、教員の業務経歴や能 力、担当する授業科目等に応じ、専攻分野の実務に関する知識、技術、技能並びに、学生に対する指導力等、教員の能 力及び資質等の修得・向上を図るため、適宜、企業等と連携した研修を行うことを基本方針としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

業界動向や輩出人材の理解① 連携企業等:株式会社 チトセアート 研修名:

期間: 令和6年5月31日 対象: テレビ美術科 教員

株式会社チトセアート(新木場工場)に於いて、テレビ美術の製作環境や手法等を理解し、業界の動向や 内容

輩出すべき人材等を的確に把握する説明・業界の人材ニーズに関する講義と意見交換

業界動向や輩出人材の理解② 連携企業等:東宝スタジオ/株式会社吉田美術 研修名:

期間: 令和6年6月5日 対象: テレビ美術科 教員

エンターテイメント界を取り巻く現状を理解し、将来を見据えた教育手法や人材輩出に役立てる。また最新

技術や教育機関に有効な環境設備を研究、そこから安全面の重要性を学び、新規カリキュラムのプランに 内容

役立てる

②指導力の修得・向上のための研修等

コミュニケーション最適化研修研修 連携企業等: 株式会社インソース 研修名:

期間: 令和6年8月20日 対象: 東放学園 教員

仕事が遅滞なく前に進むかどうかを決定づけるコミュニケーションを6要素「目的・量・質・タイミング・伝え

方・引き取りに分解し、自身がそれぞれのどの部分が弱いのか・得意なのかを実践的に学び、業務に活 内容

かせる最適化術を身につける

研修名: ディベードで鍛える説得力強化研修 連携企業等: 株式会社インソース

期間: 令和6年11月15日 対象: 東放学園 教員

ディベートを通して、説得力向上のスキルを身に付けていく。4つのポイント「論理的思考力・多面的視点・ 内容

本質追及論・判断力」の習得を目的にし、より実践的な内容部分を身につける

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: (株)NHKエンタープライズ 業界動向や輩出人材の理解① 研修名:

期間: 令和7年5月24日 対象: テレビ美術科 教員

(株)NHKエンタープライズが管理・運営する野外型ロケ施設「ワープステーション江戸」に於いて、映画・ド 内容

ラマ美術の製作環境や手法等を理解する

業界動向や輩出人材の理解② 連携企業等: 東映株式会社 研修名:

期間: 令和7年6月19日 対象: テレビ美術科 教員

日本最大級の撮影スタジオ「東映東京撮影所」に於いて、映画制作の流れを映像で学び、モーションキャ 内容

プチャースタジオや日本初のドルビーアトモス対応のダビングステージも視察し、将来を見据えた教育手

法や人材輩出に役立てる

②指導力の修得・向上のための研修等

ロジカルシンキング研修 連携企業等: 株式会社インソース 研修名:

対象: 東放学園 教員 令和7年7月10日 期間:

ロジカルシンキングのフレームを学ぶだけでなく、思考法を実際にビジネスの現場で使えるようになるため 内容

にグループワークや実践を通して学ぶ

分かりやすい説明の仕方研修 連携企業等: 株式会社インソース 研修名:

期間: 令和7年9月5日 対象: 東放学園 教員

論理的思考を鍛え、話す内容を整理できるように話の構造を視覚化することにより、「分かりにくい話」と 内容

「分かりやすい話」の違いを理解し、説明力を高める

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- (法人の基本方針)
- ①教育の一層の充実を図り、学校の目的および社会的使命を達成するため、各校における教育活動等の状況について定期的に関係者評価を行い、随時改善を図ることを目的とする。
- ②学園は充実した学校評価制度の構築に努め、各校・各部門はこれを実施する体制を整える。
- ③各校・各部門は、情報公開を念頭に揚げ、より高い基準を設定し関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

	7 · 大日 C 47 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	使命、行動指針、教育方針、理念、目的、育成人材像
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システ
(3)教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、卒業生・社会
(6)教育環境	施設·設備、学外実習·インターンシップ等、防火·安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令·設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献の取組み、ボランティア活動の取組み
(11)国際交流	00000

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を活用し教育活動および学校運営の質の保証と向上に継続的に努めるための改善措置を随時行っている。委員の意見やアドバイスを尊重し「即対応できること」「時間をかけて取り組むこと」などを検討・判断し可能な限り出来得ることから改善を行っている。(カリキュラムの改革、機材の購入、教員のスキルアップなど)

【具体的な取り組み】クラウド型学園ポータルサイトの活用などICT化を促進。PDCAを繰り返しながら業務の効率化、学園サービスの充実を図り、新たな教育方法・学校運営を施行。社会のニーズや時代に合わせた新たなカリキュラムの検討等。日進月歩で変容していく関連業界の技術や働き方に合わせた授業内容や授業名を委員の意見の元、検討を重ね、実施に向けて準備をしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
岸田 真	桜美林大学 芸術文化群 教授	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	教育・学校運営 に関する有識者
田口 裕基	日本大学 鶴ヶ丘高校 教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	高校教諭
小川 尚人	一般社団法人 日本ポストプロダクション協会		就職先及び関 連業界関係者
葭田 浩和	株式会社 ゼロステーション		就職先及び関 連業界関係者
永瀬 ななえ		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/

URL: https://www 公表時期: 令和7年5月

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

認可された教育機関として、社会への説明責任を果たすとともに、教育の質保証・向上の観点から、学生、保護者、地域住民、関連業界企業等に教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供する。また、同窓会組織や東放学園キャリアサポートセンターと連携を図り、卒業生や企業等から積極的に意見を聴取して、業界のニーズを反映した教育環境の整備や教育課程の編成に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	基本理念、使命、行動指針、教育方針、学園概要、沿革、お問い合わせ
(2)各学科等の教育	募集学科・募集定員、テレビ美術科、テレビ美術科カリキュラム一覧、資格取得
(3)教職員	学園概要(校長名、教員数)、※学校公式ブログ
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	部&クラブ活動紹介、機材・設備
(6)学生の生活支援	留学生活支援、学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費、奨学制度・教育ローン、奨学制度(留学生)
(8)学校の財務	情報公開(財務情報)
(9)学校評価	情報公開(自己評価報告書、学校関係者評価報告書)
(10)国際連携の状況	留学生の方へ
(11)その他	00000

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: URL:https://www.tohogakuen.ac.jp/

公表時期: 令和7年5月

授業科目等の概要

	授業科目等の概要 【(放送専門課程 テレビ美術科)								_							
		分類		1M IE / 0 C.	A 10 117	配	授		授	業		場	所	教	員	企
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	当年次	業	単位	講	演	験・	校	校	専	兼	業等と
	修	N.必修	田選択	汉朱行口石	1又不行口纵交	《 学期	時	数	義	習	技実習・	内	外	任	任	の連携
1	0			就職講座I	自己分析、履歴書作成、自己 P R 、企業研究、面 接対策など、就職活動に不可欠な知識と技能を習	1 前	数 30		0		実	0		0		捞
2	0			就職講座Ⅱ	得します。 自己分析、履歴書作成、自己 PR、企業研究、面 接対策など、就職活動に不可欠な知識と技能を習	1	30		0			0		0		
3	0			テレビ美術 基礎 I	得します。 テレビスタジオの設備や美術スタッフの役割などを理解し、設計図面の描き方を習得します。	1 前	45		0			0			0	
4	0			テレビ美術 基礎II	「テレビ美術基礎 I」の応用。ドラマやバラエティなど、様々な番組セットのブランニングと図面作成・模型製作を行います。	1	45		0			0			0	
5		0		美術スタッ フマネージ メント I	美術スタッフの業務とテレビ番組の企画決定から 美術セット完成までの多岐にわたるワークフロー を学びます。	1 前	30		0			0			0	
6		0		美術スタッ フマネージ メントII	「美術スタッフマネージメント I」の応用。ライ ブイベントにおける美術スタッフの役割などを学 び、職業の選択肢を広げます。	1 後	30		0			0			0	
7	0			美術スタッフ養成講座	様々なジャンルで活躍する、美術関連のプロ フェッショナルが現場におけるトピックスやノウ ハウを伝授します。	1 通	30		0			0		0	0	
8	0			美 術 デザイ ン基礎 I	デッサン、パース、平面図など美術デザインの基 礎から、色彩学、平面構成、立体構成まで学習し ます。	1 前	45		0			0			0	
9	0			美術デザイン基礎Ⅱ	「美術デザイン基礎 I」の応用。デッサン、パース、平面図など美術デザインの基礎から、色彩学、平面構成、立体構成まで学習します。	1 後	45		0			0			0	
10		0		舞台美術 I	台本の読み方、舞台用語、香盤表の作り方、小道 具のデザインなど、舞台美術の基礎を学びます。	1 前	30		0			0			0	
11		0		舞台美術Ⅱ	「舞台美術デザイン I 」の応用。台本を読み、演 出意図をふまえた舞台のデザインや模型を製作し ます。	1 後	30		0			0			0	
12		0		プロになる ためのテ 氏番組の見 方	実際のテレビ番組を美術という視点で解説し、シミュレーションすることで創造の感性や熱意を育 みます。	1 前	30		0			0			0	
13		0		アートイラ ス ト レ ー ター I	「イラストレーター」の基本操作を習得し、課題 作成を通して、デザインの基本を学びます。	1 前	30				0	0			0	0
14		0		アートイラ ス ト レ ー ターⅡ	「アートイラストレーター I 」の応用。自分のイメージを形にするための実践的なスキルを身につけます。	1後	30				0	0			0	0
15		0		アートフォ トショップ I	「フォトショップ」の基本操作を習得し、いくつ かの作品づくりを通して、デザインの基本を学び ます。	ĦIJ	30				0	0			0	0
16		0		アートフォ トショップ II	メージを形にするための実践的なスキルを身につ けます。		30				0	0			0	0
17		0		大 道 具 操 作 実習	パネルや平台、箱馬などの部材を使って、実際に 美術セットを建て込み、大道具の基本操作を習得 します。	1 後	60				0	0			0	
18		0		CAD実習 I	「Vector Works」の基本操作を学び、2D製図作成 から3Dモデリングまでの技術を習得します。	1 後	60				0	0			0	0
19		0		造形制作実 習	発泡スチロールや布、ブラスチックなどの不定型な素材を利用して美術作品を製作します。 ************************************	前	60				0	0			0	0
20		0		デッサンI	基本図法を学び、リンゴや手などの身近なモチー フを描くことで、美術の基礎である「デッサン カ」を身につけます。	1前	30				0	0			0	0
21		0		デッサンⅡ	「デッサンI」の応用。構図や遠近法など、ハイレベルな絵画技法を習得します。	1 後	30				0	0			0	0
22		0		作実習	コンサートや舞台の演出には欠かせない特殊効果 機材の種類や使い方などの基礎を学びます。 社会人として不可欠なビジネスマナーやコミュニ	1前	15				0	0		0		
23	0			ビジネスマナー	ケーションの重要性を認識し、好感度の高いスキルを体得します。	別	30				0	0			0	0
24	0			美術制作実習Ⅰ	美術の基本となる材料や工具の使用方法と塗装や 装飾などの基礎技能を習得します。 「美術制作実習 I 」の応用。デザインから完成ま	1 前	60				0	0			0	
25	0			美術制作実習Ⅱ	「乗術制作美音 I 」 の 心用。 アワインから元成までの一連の作業により、美術制作の高度な技能を 習得します。 メディア&エンターテインメント業界における衣	後	60				0	0			0	
26		0		服飾デザイン実習Ⅰ	ァナイア&エンターティンタント来来におけるな 紫の役割、テーマに即した衣装デザインや造形力 など、服飾デザインの基礎を学びます。 様々なアイテムのスケッチとプレゼンテーション	後	60				0	0			0	
27		0		ルコミュニ ケーション 育成	様々なアイナムのスケッチとフレゼンテーンョン を繰り返し行うことで、他者に伝えるための表現 力を養います。	2 後	30		0			0			0	

28		0		映像作品鑑賞	様々な映像作品を鑑賞して、作品や美術に関する 知識を深め、表現者としての感性を磨きます。	2 後	60	0			0		0		
29		0		就職講座Ⅲ	「就職講座I・II」の応用。間近に控えた就職活動に向け、「内定を勝ち取る」ためのノウハウを体得します。	2 前	30	0			0		0		
30		0		テレビ美術 (情報・バ ラエティ)	商品ロゴやパッケージのデザイン、情報・バラエ ティ番組のセットデザイン・図面・模型などを製 作します。	2 前	45	0			0			0	
31		0		テレビ美術 (デザイン)	セットデザインの知識や技能を習得すると共に、 美術スタッフの役割や他のセクションとの関わり 方などを学びます。	2 前	45	0			0			0	
32		0		テレビ美術 (ドラマ)	セット図面、衣裳、持ち道具、美装、道具帳、附 帳、模型製作など、テレビドラマの美術全般に関 わる知識や技能を習得します。	2 前	45	0			0			0	
33		0		フ ォ ロ ー アップゼミ	履歴書の見直しや個人面談などで就職活動をバッ クアップします。また、学内企業説明会も実施し ます。	2 後	30	0			0		0		
34		0		アートイラ ス ト レ ー ターⅢ	「アートイラストレータ II」で習得したスキルを フルに活用して完成度の高い名刺やポスターなど を作成します。	2 前	30			0	0			0	0
35		0		アートフォ トショップ Ⅲ	「アートフォトショップII」で習得したスキルを活用し、用途や目的に応じた完成度の高い作品を作成します。	2 前	30			0	0			0	0
36		0		オ ー プ ン セットゼミ	野外のセットやオブジェなどを共同で制作する、 合宿形式の校外学習です。学生相互の交流も深め ます。	2 前	30			0		0	0		
37		0		CAD実習 II	「CAD実習 I」の応用。Vector Worksの豊富な機能 をマスターし、他のアブリケーションとの連動を 行うことで、作図の表現力を高めます。	2 前	60			0	0			0	0
38	0			個人制作ゼ ミ/卒業制作 展	2年間の総まとめとして、模型、デザイン画、造 形などの中から、自分自身で課題やデザインを設 定し、製作します。	2 後	90			0	0			0	0
39		0		番組制作演習	全学科合同で、音楽・情報・パラエティなど、 様々なジャンルの番組を制作します。企画から放 送までの全てのプロセスを実践します。	2 前	210		0		0		0	0	
40		0		美 術 ス タ ッ フ現場実習	自己の適性や可能性を再認識するために、2年次 の夏休みに短期で美術関連の現場実習を行いま す。	2 前	60			0		0		0	0
41		0		美術制作実 習Ⅲ	「美術制作実習Ⅱ」の応用。道具図面を読み解き、作業手順や方法を考えながら、美術セットを 製作します。	2 前	60			0	0			0	
42		0		美術制作実 習Ⅳ	美術制作実習の集大成。作業効率、保管、運搬・ 搬入方法などを考慮し、実際に公演する舞台美術 の大道具や小道具を製作します。	2 後	60			0	0			0	
43		0		PC デザイン 実習	「フォトショップ」や「イラストレーター」の他、デジタルカメラ・スキャナー・ブリンターなどの周辺機器も活用し、自ら企画した作品を制作します。	2 後	60			0	0			0	0
44		0		服 飾 デ ザ イ ン実習 II	「服飾デザイン実習 I 」の応用。テーマに沿った 素材の選択から実際の製作に至るまで、デザイン の発想力や技術の応用力を磨きます。	2 前	60			0	0			0	
45		0		舞台美術制作実習	実際に公演する演劇の大道具や小道具を製作し、 搬入、建て込み、本番、撤収まで、舞台美術の一 連のプロセスを実践します。	2 前	60			0		0		0	
	合計				45	未	I			2070	単	位(単位	7時間	f)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等					
卒業要件	①期日までの学費納入 ②必修科目を含む、年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定	1 学年の学期区分	2 期				
履修方法	: 初回の授業(ガイダンス)で内容を確認し、期日までに履修科目の登録を行う	1 学期の授業期間	15 调				